

JALIC

大学・学生・企業をつなぐキャリア情報誌

# キャリアのミカタ

2026.Apr Vol.56

Presented by 株式会社ジェイック



【26卒学生のインタビュー】

就活が長期化し苦戦してしまう  
学生の共通点

## 【26卒学生のインタビュー】

# 就活が長期化し苦戦してしまう 学生の共通点

今月は、ジェイックの就職支援サービスを通じて内定を獲得した  
26卒学生3名へのインタビューをまとめました。

いずれも、就職活動の開始当初は相談できる相手がおらず、  
業界研究やビジネスマナーの習得も十分でないまま選考に臨み、  
苦戦を経験した学生たちでした。

就職活動の長期化や孤立した学生への対応が課題となるなか、  
彼らの共通点から、就活生が必要としている「きっかけ」を探ります。



Hさん

・東海地方  
・私立大学  
・心理学部

【内定時期】  
4年生6月

3年生春から大学の就活講義に参加。合同企業説明会・インターンを経て早期選考4社に  
挑むも苦戦。3年生3月にジェイックのはがきをきっかけにサービスを利用し4年生6月に  
内定獲得

Q1

就活はいつ頃から、  
どんなきっかけで始めましたか？

A1

大学3年の4月頃です。大学構内のエレベーターなどにも  
就職活動のポスターが貼ってあって「参加しないとやばい  
かな」という焦りから就活講義に行き始めました。やりたい  
ことが全然明確じゃなかったで「将来どうなるんだろう」という  
不安がずっとありましたね。友達も誘って10回全部出て、5月には合  
同企業説明会にも参加して、少しずつ視野が広がっていきました。

Q3

ジェイックを知ったきっかけや、  
利用しての感想はありますか？

A3

大学のポスターで知りました。選考を進める会社がなく  
なって、焦っていた時期に「1日に複数社と面接できる」と  
書いてあって申し込みました。良かったのは、サポートがと  
ても手厚かったことです。自分では気づけなかった長所・短所を教え  
てもらえましたし、第一志望の企業の面接スタイルを事前に知るこ  
とができたのが大きかったです。「結論を先に言おう」とのアドバイ  
スもらい、苦手だった論理的な話し方も練習できました。エージェ  
ントの存在自体それまで知らなくて、ジェイックが初めてでした。

Q2

選考で苦戦したことは何でしたか？

A2

3年の8月からインターンを受け始めて7社ほど参加したん  
ですが、早期選考4社受けましたが、全部落ちてしまいま  
した。言葉遣いとかメモの取り方とか知らなかったことが  
多くて「失敗してしまった」とネガティブになることも多かったです。  
3年3月に複数社でまた全部落ちてしまって、かなり焦りました。企業  
とのメールのやりとりも苦手で、学業との両立もきつくて、いっぱい  
いっぱいだったと思います。

Q4

就活を通じて気づいたことは？

A4

大学の就活講義に早めに参加したのは本当によかったで  
す。合説もそこから繋がったし、ジェイックを知ることがで  
きたのも、講義から動いていたからこそだったと思います。  
AIツールは一切使ったことがなかったんですが、就活に使っている  
人も多いみたいで、うまく取り入れると効率上がるのかもしれない、  
とは思いました。

キャリア  
アドバイザー  
より

Hさんのように「やりたいことが明確でない」学生は少なくありません。まず動き出すきっかけと伴走できる存在が重要  
です。大学講義や合説で地道に視野を広げてきたHさんに必要だったのは「自分の強みの言語化」や「業界の正しい理解」  
でした。こうした学生を早期にサポートできれば、より多くの納得内定につながると感じます。

Tさん

・関東地方  
・私立大学  
・外国語学部

【内定時期】  
4年生9月

3年2月に学内セミナーをきっかけに就活スタート。メーカー系中心にES15社・面接10社に挑むも内定が出ず。4年8月にジェイック主催の合同説明会に参加し、9月末に就職先決定

Q1

就活はいつ頃から、  
どんなきっかけで始めましたか？

A1

本格的に始めたのは3年の2月からですね。大学に貼ってあったポスターを見て「これからやってみよう」と思ったのがきっかけです。学校主催のセミナーだったので安心感があって参加しやすかったです。キャリアセンターに相談したら「メーカーか商社が向いている」と言われて、ものづくり系を中心に見ました。自分で調べようという気持ちが強くて、インターネットでひたすらリサーチしてESを書いていたんです。

Q3

ジェイックを知ったきっかけや、  
利用しての感想はありますか？

A3

4年生の8月頃に自宅にはがきが届きました。親がポストから取って机に置いてくれていて「合同説明会」という文字が目に入りました。ちょうど自分でエントリーしていた企業の選考が全部終わったタイミングだったので「また1から始めるにはちょうどいい」と思って参加しました。担当のアドバイザーの方が、就職活動の基礎から教えてくれて、相談しやすかったです。それまでエージェントって「求人を紹介してくれるだけ」というイメージだったんですけど様々な添削や面接の練習など「そんなことまでしてくれるんだ」と驚きました。

Q2

選考での苦戦したことと、  
一番つらかったことは何ですか？

A2

ES15社・面接10社受けたんですが内定はゼロでした。最終面接まで進んだり、その一歩手前で終わることもあり、キャパオーバーでパニックになることもありました。面接マナーやメールのやりとりも最初は全然わかっていなくて「こういう時どうするのが正解？」ってネットで調べることが多かったんです。誰にも相談できなかったんで、全部自分でやらないといけないのがきつかったですね。

Q4

就活を通じて気づいたことは？

A4

ビジネスマナーはあらかじめ知っておくべきでした。自己分析も全然できていなかったです。3月にとりあえずエントリーしていったから、選考を進めるうちに「本当は何がやりたいんだろう？」ってなっていました。職種や業種の種類がこんなにあるとは思ってなかったんで、早い段階から幅広く見ておくのが大切だと思います。

キャリア  
アドバイザー  
より

Tさんのように「頼れる人がいない」まま一人で就活を進めてしまう学生は多くいます。マナーや自己分析など基礎的な準備が後手に回り、面接で苦戦するケースもあります。孤独な就活生と早くにつながることであれば、苦戦する期間を大幅に縮められます。

Yさん

・関東地方  
・私立大学  
・社会学部

【内定時期】  
4年生11月

3年生2月から情報収集スタート。国際物流業界中心にES10社・面接5社に挑むも一次面接で落ち続ける。4年生8月に志望業界をITへ転換。ジェイックの面接会に参加し、11月に内定獲得

Q1

就活はいつ頃から、  
どんなきっかけで始めましたか？

A1

3年生の2月から情報を集め始めました。それまで就活に全然興味がありませんでしたし、イメージも何もなかったです。とりあえずナビサイトに登録して、英語ができるので国際物流業界を中心に絞りました。サークルに入っていなかったんで情報が全然入ってこなくて、周りの状況もわからないまま一人で進んでいた感じです。

Q3

ジェイックを利用してみて、  
どんな変化がありましたか？

A3

面接の受け答えのベースとか、熱意や会社への姿勢の伝え方とか「面接のリアル」を知れたのが大きかったです。自分の能力だけで勝負しようとしてたんですけど、ベースの形式フォーマットに則って伝えるものなんだ、ということを知りました。「企業の求めるもの」についても改めて確認できました。それを知っていればもっとちがう動きができたかもしれない、とは思いましたね。

Q2

一次面接で落ち続けた時期、  
どんな状況でしたか？

A2

ESを出して一次面接に進むんですけど、ずっと一次選考で落とされる繰り返しでした。企業ごとに自分なりに考えて臨みますが、うまくいきませんでした。落ちる理由を自分なりに分析してもよくわからなくて、それが一番きつかったです。4年生の8月頃に「この業界、合っていないんだ」と思って業界を変えることにしました。1からやり直すのは不利になるのでエージェントを使おうと思っていた時に、大学のメールで「面接会を開催します」という案内が届いてジェイックに申し込みました。

Q4

就活を通じて気づいたことは？

A4

就活は情報戦だな、と本当に感じました。自分より多くの情報を持っている人を活用して損することはないので、エージェントはほとんどの人が使った方がいいんじゃないかと今は思っています。もっと早くやっておくべきだったというのも正直なところで、礼儀や言葉遣いも、就活を始める前から身につけておくべきだったと思います。

キャリア  
アドバイザー  
より

Yさんのように「一次面接で落ち続ける理由がわからない」学生は多く、自己流で続けて苦戦し続けることがあります。企業の求めるものを知らないまま就職活動をしていたYさんにとって、面接のリアルを知れたことが最大の転換点でした。サークル未加入で情報が入りにくい学生にこそ、早めに情報を提供できれば、就活を長期化せずに済むでしょう。

# 就活が長期化し苦戦してしまう学生の共通点

今回、3名の学生のインタビューから見てきたのは、就職活動をはじめるものの、どうしたらよいのかわからない、という学生たちのリアルな姿でした。学生たちの共通点をまとめます。

## 1 「誰にも相談できない」孤独な就活

3名の学生全員が「友達には相談しにくい」「周囲に相談できる人がいない」という孤独を抱えていました。情報も人脈も持たないまま一人で試行錯誤し、結果が出ないまま苦戦が長期化するパターンが共通しています。

## 2 「なぜ落ちたかわからない」まま続ける悪循環

就職活動の悩みで多いのは「面接がうまくいかない」「面接が不安」です。インタビューした学生も面接で落ち続けていましたが、その原因を客観的に分析できず、マナーや言葉遣いなどの表面的な改善に終始していました。なぜ進めないかを言語化できずに自信を失い、行動量が減るという負のループに陥っています。

## 3 自分の経験値だけで完結してしまう

「接客が好きだからBtoC」「英語ができるから国際物流」など、過去の経験のみで業界を絞り込み、視野を広げられずにいるケースも多く見られます。外部からの客観的な視点があれば、より自分に合う可能性のある企業との出会いを拡げられるでしょう。

## 4 キャリアセンターへの心理的な距離感

決して大学の支援が不足しているわけではありません。しかし、学生側からは「しっかり準備してから行かなければいけないと思っていた」「一度行ったきりで、自分の状況で何度も行くのは申し訳ないと感じた」といった声もあります。キャリアセンターを「ハードルの高い場所」と捉えてしまい、自発的なアクションが止まってしまっている層も存在しています。

## 苦戦している就活生に「きっかけ」と「自信」を

こうした「孤独な就活生」と早期につながり、支援を届けるために、ジェイックでは、大学の皆さまと連携した「外側からのアプローチ」を実施しています。新年度を迎えた今こそ、焦りや不安を抱えている学生の再始動をサポートしていきたいとします。下記、ご興味ありましたら、お気軽にご相談・お問い合わせください。

新4年生の  
春から夏

## 納得のいく進路決定に向けた就職支援プログラムのご提案

ジェイックのイベントは、『就活のスタートが遅れてしまった』『教育実習や部活でこれから本格的に動く』『選考が進まず、もう一度やり直したい』といった焦りを抱える学生にとって、**事前研修+面接会**という実践の場で**面接経験**を積み、『自分の現在地』を知り、『次のステップへのヒント』を得られる、総合的な成長機会を提供しています。具体的には以下のようなプログラムとなっております。

### 「Web面接会」プログラムとは？



これまで全国176校(2025年6月時点)の大学でご活用いただいている学生の就職活動をサポートするプログラムです。本プログラムは以下の流れで進みます。

### 1. ガイダンス～事前研修で就活対策

就職活動に必要な知識やスキルを習得するためのガイダンスと事前研修を実施します。

### 2. Web面接会

書類選考なしで約10社の企業との面接会を実施し、学生に多くの出会いの場を提供します。

### 3. 個別アドバイザーによる支援

学生一人ひとりに専属のアドバイザーがつき、就職活動をきめ細やかにサポートします。

また、学生の問い合わせやアクションを促進するため、マーケティング手法を用いたハガキや案内メールの作成もサポートさせていただきます。貴校のご要望に合わせてプログラムをカスタマイズできますので、お気軽にご相談ください。今後のイベント開催情報をメールでも発信していきますので、ぜひQRよりご登録ください。

メール登録は  
こちらから



最後までご覧いただき、ありがとうございました。少しでも貴校の就職支援の参考になれば幸いです。最後にアンケートのご協力をお願いいたします。今後のキャリアのミカタの参考にさせていただきます。率直なご意見をお寄せください。右のQRからご回答をお願いいたします。



運営会社(お問い合わせ先):  
株式会社ジェイック First Career Division  
東京都千代田区神田神保町1-101神保町101ビル6階(受付)  
TEL 03-5282-7603 ■ daigaku@jaic-g.com